

図書委員会版

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校

図書委員会 2026年 vol.4

今回の図書館だよりは2年生図書委員の広報係が担当しました。

図書館には、書店巡りで選定した本がカウンター近くのコーナーに並んでいて、POPで紹介した本以外にも新しく入った本がたくさんあります。ぜひ見に来てください。

『つながるごはん つくり手と食べ手を結ぶ鳴子の米』

農文協(編) 農山漁村文化協会

20年前、宮城県の旧鳴子町で地域住民
一丸となって立ち上げた一大専業、
「鳴子の米プロジェクト」。この専業を深
掘りし、日本の米の未来について探る。



『Newton 別冊 筋肉とスポーツの科学最新版』

株式会社ニュートンプレス

筋肉の名称から、そもそも筋肉とはなにかということや、
効果的なトレーニングやストレッチ、けがについてなどが
細かく書かれているため、人体について詳しく学びたい
人やスポーツをしていて能力を向上させたいと考えている
人に おすすめの一冊です。

閉じこめられた 「森の人」

ミッシェル・カダリスマン 村上利佳(訳) あすなろ書房

この本は、森を失ったオランウータンを助けようとする、
2人の中学生のお話です。この物語を通して、森林破壊や
動物を守る大切さを知ることができます。自然
や動物について考えるきっかけになる一冊です。

閉じこめられた
「森の人」



太平洋戦争1941-1944

日記が語る戦争の真実



「新・ドキュメント 太平洋戦争 1941-1944 日記が語る戦争の真実」

NHKスペシャル取材班(著) 河出書房新社

最前線の兵士、政治や軍のリーダー、主婦、会社員、学生などの一般市民が書き記した日記、手紙、手記を軸に1人1人の個人の視点から戦争のリアルを追体験した一冊。

『その糸を文字と成し』

高野 知宙 (著) 河出書房新社

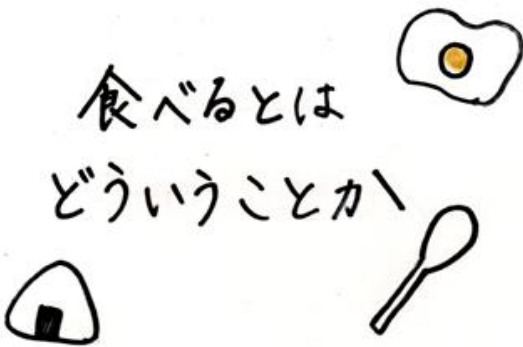
明治時代前期、奉公人・種吉は友人の紹介で学問の奥深さを見つけた。学問に興味を持った種吉は文字を学び、知識を深めようとする。その方世間では景気が陰りを見せ危機的な状況が迫っていた。

少年たちの成長を描いた一冊。

その糸を文字と成し 高野 知宙(著)



食べるとは どういうことか



食べるとはどういうことか 世界の見方が変わる三つの質問(著)藤原辰史

『食べるとはどういうことか』は藤原辰史さんが書いた、食べることの意味や命とのつながりについて考えさせられる本です。食べ物に対する見方が変わるきっかけになる一冊です。

著 キムリニミ、 訳 矢島暁子
河出書房新社

学校や街の中で居場所を失い、存在が消えてしまいうような彼らと、その存在を唯一察知できる主人公の間に寄り添いながら生きていく姿が描かれます。自分と親めることの大切さを教えてくれる温かいメッセージに満ちた一冊です。

『韓国で大反響!!』、10代から大人まで読める、

ピスケット



『同じ手を差し伸べるとの大切さを教えてくれる一冊です。』